

# 9月の農薬

No. 6 - 1

平成21年9月1日

この資料の活用は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

## 水稲

- 収穫適期を逃さず適期刈取りを行い、高品質で良食味の米を作るよう指導ください。
- 斑点米カメムシ類の防除は、収穫期（刈取時期）に留意して使用するようご指導ください。

## りんご

- キンモンホソガ（ギンモンハモグリガ）の防除とりんごの落果防止剤の散布時期です。
- 晩生種では、9月中旬以降降雨が続く場合は更にオーソサイド水和剤800倍を散布する。（収穫14日前まで）（すす点・すす班病）

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬	オーソサイド水和剤80	250g 500g	-	斑点落葉病 すす点斑	800倍 125g	700ℓ 875g	混用散布する。 いずれか
	ストライド顆粒水和剤	333g	-		1,500倍 67g	700ℓ 467g	
	ドキリンフロアブル	500ml 1ℓ	-		1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	アクタラ顆粒水溶剤	100g 500g	-	シンクイムシ類 シキカメムシ類	2,000倍 50g	700ℓ 350g	
	ダントツ水溶剤	125g 250g	-	3,000倍 33g	700ℓ 233g		
9月上旬	ストッポール液剤	500ml	-	りんご落果防止	1回目 1,500倍	500ℓ 335ml	収穫25日～7日前、2回目散布する場合は1回目散布10日後
9月中旬	ロディー水和剤	500g	○	キンモンホソガ ギンモンホソガ	1,000倍 100g	700ℓ 700g	晩生種のみ散布する。

## もも

せん孔細菌病は、今の時期に菌密度を下げるのが重要です。収穫後の防除を徹底しましょう。（ICボルドー412を7～10日間隔で2回散布する）

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬（収穫後）	スミチオン乳剤	100ml 500ml	-	シンクイムシ モモハモグリガ	1,000倍 100ml	400ℓ 400ml	いずれか
	スプラサイド水和剤	500g	○		2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	展着剤	500ml	-		20ml	80ml	
	ICボルドー412	5kg 10kg	-	せん孔細菌病 縮葉	30倍 3.4kg	400ℓ 13.6kg	
園地の清掃 空袋等を処分して下さい。灰星病の被害果を集め土中深く埋没してください。							

コスカシバ対策（もも、おうとう）  
10月以降の落葉期に枝幹に散布する。ラビキラー乳剤200倍（50ml/10ℓ）

## かき

落葉病、炭そ病の仕上げ防除をしましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬	ベルコート水和剤	100g 500g	-	すす点病 炭そ病	1,000倍 100g	500ℓ 500g	収穫14日前までに使用する。
	展着剤	500ml	-		20ml	100ml	

## ぶどう

収穫終了後の防除は、極力間を開けないで防除しましょう。散布直後に降雨があった場合は追散布を実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月（収穫後）	ICボルドー66D	5kg	-	さびと斑病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	
	スミチオン水和剤40	500g 1kg	-	フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類 (キクイムシ)	1,000倍 125g	300ℓ 300g	
	ガットサイドS	1ℓ 5ℓ	-	コウモリガ	1(原液)～1.5倍で主幹部に塗布、又は1.5倍液散布する。		
9月上旬	ICボルドー48Q	5kg	-	べと病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	棚上散布する。
9月（収穫後）	ICボルドー66D	5kg	-	べとび病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	
	スミチオン水和剤40	500g 1kg	-	フタテンヒメヨコバイ	1,000倍 100g	300ℓ 300g	

トラカミキリ対策  
10月以降、休眠期にラビキラー乳剤200～300倍を母枝・古つるを中心に十分散布する。（但し、ガットサイドSを使用した場合は散布しない。）

## 西洋なし

輪紋病は8月以降も降雨が続く場合、9月上旬頃まで感染しますので、散布間隔を開けずていねいに防除しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬	アミスター10フロアブル	500ml	-	輪紋病	1,000倍 100ml	600ℓ 600ml	いずれか 混用散布する。
	オキシンドー水和剤80	500g	-		1,200倍 83g	600ℓ 498g	
	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-		2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	ダーズバンDF	167g	○	シンクイムシ カイガラムシ	3,000倍 33g	600ℓ 198g	
	ダイアジノン水和剤34	500g	○	ハマキムシ	1,000倍 100g	600ℓ 600g	
	スタークル顆粒水溶剤	500g	-	カメムシ類 シンクイムシ類	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
9月中下旬	オキシラン水和剤	500g 1kg	-	輪紋病	600倍 167g	600ℓ 1,000g	いずれかを散布する。
	ドキリンフロアブル	500ml 1ℓ	-		1,000倍 100ml	600ℓ 600ml	
	トップジンM水和剤	500g	-	輪紋病 炭そ病	1,500倍 67g	600ℓ 400g	
	展着剤	500ml	-	輪紋病	20ml	120ml	

※ストロビードライフフロアブルはおうとうには薬害の恐れがあるので飛散しないよう注意する。  
※アミスター10フロアブルは、りんごの「あかね等」に薬害が出るので絶対飛散しないようにする。

## 果樹の除草剤

ラウンドアップの秋期散布（11月中旬）は翌春の雑草発生を長く抑えます。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	10a当り使用量	効果発現	持続期間	特性と作用
秋期	ラウンドアップマックスロード	500ml	-	400～1,000ml 水量 50～100ℓ	7～14日後	60日	多年生雑草



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

お問い合わせ・ご注文の電話番号  
023-634-8157

ご注文の際のFAX番号  
023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

# 9月の農薬

No. 6 - 2

平成21年9月1日

この資料の活用は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

## キャベツ・はくさい

○アブラナ科野菜は、コナガの他、アオムシ、ヨトウムシ類が好んで加害するので、同時防除剤を上手に活用しましょう。

○各害虫共に、発生初期（若令幼虫）の時期に早めに防除しましょう。

### (1) コナガ対策

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ジェイエース水溶剤	100g 500g	-	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、 アブラムシ類他	1,000倍 100g	200ℓ 200g	A：有機リン系薬剤
	マラソン乳剤	100ml 500ml	-		1,000倍 100ml	200ℓ 200ml	
B	コテツフロアブル	250ml 500ml	○	コナガ、アオムシ	2,000倍 50ml	200ℓ 100ml	B：呼吸系阻害剤 蚕毒・魚毒が強いので、注意する。
C	エスマルクDF	100g 500g	-	コナガ、アオムシ	1,000倍 100g	200ℓ 200ml	C：B・T剤（エスマルクは生菌剤）
D	パダンSG水溶剤	100g 500g	○	コナガ、アオムシ	1,500倍 67g	200ℓ 134g	D：ネライストキシン系薬剤 蚕毒・魚毒が強いので注意する。
E	カスケード乳剤	250ml	-	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ 他	4,000倍 25ml	200ℓ 50ml	E：IGR剤 蚕毒が強いので注意する。 キチン合成阻害作用なので遅効性である。
	ノーモルト乳剤	100ml 500ml	-		2,000倍 50ml	200ℓ 100ml	
F	マブリック水和剤20	250g 500g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、 アブラムシ類他	2,000倍 50g	200ℓ 100g	F：合成ピレスロイド剤 蚕毒・魚毒が強いので注意する。
	アディオソ乳剤	100ml 500ml	-		2,000倍 50ml	200ℓ 100ml	
G	アフーム乳剤	500ml	-	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	2,000倍 50ml	200ℓ 100ml	G：マクロライド系薬剤 抵抗性が発達しやすいので、年1回の使用とする。
H	ランネット45DF	100g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、 アブラムシ類他	1,000倍 100g	200ℓ 200g	H：カーバメート剤 眼に対して刺激があるので、必ずメガネ、マスクを着用し散布する。
I	スピノエース顆粒水和剤	100g	-	コナガ、アオムシ	5,000倍 20g	200ℓ 40g	I：スピノシン系薬剤 蚕毒が強いので注意する。
J	トルネードフロアブル	250ml 500ml	-	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	2,000倍 50ml	200ℓ 100ml	J：オキサジアジン系薬剤 蚕毒が強いので注意する。
K	プレオフロアブル	100ml 500ml	-		1,000倍 100g	200ℓ 200ml	
L	フェニックス顆粒水和剤	100g 250g	-	コナガ、アオムシ、 ヨトウムシ類他	2,000倍 50g	200ℓ 100g	新規：全く新しいタイプの殺虫剤 天敵、有用昆虫に対し影響が少ない。残効性に優れる。

※1 各薬剤をローテーションで使用する。

※2 コテツフロアブル及びアフーム乳剤は年1回の使用とし、コテツフロアブルは幼苗期（1～3葉期）は薬害が出る恐れがあるので使用しない。

※3 コナガは、抵抗性が発達しているところが多いので、被害が出ない程度まで抑えることが重要です。

### (2) 軟腐病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

軟腐病はキスジノミハムシなどの害虫の加害を受けた傷口から病原菌が侵入するので、害虫の防除を徹底することが重要です。

また、台風など（強風）により受けた傷口からも感染する場合もあるので、被害があった場合はただちに殺菌剤を散布しましょう。

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	カスミンボルドー	100g 500g	-	軟腐病他	1,000倍 100g	200ℓ 200g	A：抗生物質・銅剤 予防効果と治療効果を併せ持つ剤である。
B	スターナ水和剤	100g 500g	-	軟腐病	1,000倍 100g	200ℓ 200g	B：オキシリニック酸 予防効果のみである。
C	バリダシン液剤5	500ml	-	軟腐病	800倍 125ml	200ℓ 250ml	C：抗生物質（バリダマイシン） 治療効果もある。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。本病害は、バクテリア（細菌）性の病害なので、他病害防除も兼ねて、銅剤を中心に使用し防除します。尚、治療効果のある薬剤は少ない現状にあります。

※2 ベと病と症状が似ているので、見分ける場合は、病斑部分の臭いを調べる（強い腐臭がある場合は、軟腐病と思われる）。

### (3) ベと病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ダコニール1000	500ml	-	べと病	1,000倍 100ml	200ℓ 200ml	A：有機塩素系薬剤 予防効果のみである。
B	ビスダイセン水和剤	500g	-	べと病他	600倍 166g	200ℓ 330g	B：有機硫黄系薬剤 予防効果のみである。
	ベンコゼブ水和剤 （ジマンダイセン水和剤）	500g	-		500倍 200g	200ℓ 400g	
C	リドミルMZ水和剤	500g	-	べと病	1,000倍 100g	200ℓ 200g	C：マンゼブ・メタラキシル剤 予防・治療両効果を併せ持つ。
D	アミスター20フロアブル	250ml	-	べと病他	2,000倍 50g	200ℓ 100g	D：ストロビルリン系薬剤 予防・治療両効果を併せ持つ。
E	ホライズンドライフロアブル	200g	-	べと病	2,500倍 40g	200ℓ 80g	E：ファモキサゾン＋シモキサニル剤 予防・治療効果を併せ持つ剤である。
F	プロポーズ顆粒水和剤	100g 500g	-	べと病	1,000倍 100g	200ℓ 200g	F：ダコニール＋ベンチアパリカルブ剤 予防・治療効果を併せ持つ剤である。JAのみの取扱商品になります。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。発病した場合はただちにC系統の薬剤を散布する。また、本病害は雨等の水分により、感染率が高まるので降雨があった場合、直後に防除すると効果的です。

※2 病斑は軟腐病と似ていますが、腐臭が少ないのが特徴です。

### (4) ナメクジ類（ウスカワマイマイ等を含む）の対策

A 作物の生育初期で葉が繁茂する前はナメキール等の粒剤タイプの薬剤を株間・うね間等に10a当り100gの割合で（1カ所当り5～10粒）配置する。（野菜畑・庭等で使用可）

B 生育期中～後期は葉が繁茂するので、液剤タイプの散布剤マイキラーを200倍を150ℓ/10a程度散布する。（畑作物栽培は場周辺および、花卉栽培はハウス内で使用可）

※1 ただし、上記薬剤はいずれもメタアルデヒドが成分で、残効は短いので、発生初期に処理すると効果的です。

※2 また、降雨に合うと流亡するので、天候を見はからって処理すること。

※3 ナメクジ類及びウスカワマイマイ類は、湿度が高い夜間に食害するので、夕方の処理が効果的です。